

一関市内小・中学校における

クマ出没対応マニュアル

一関市教育委員会

クマ出没時の対応チェック表

クマの出没情報確認 ←市教委・児童生徒／保護者・林政推進課・防災放送



緊急対応が必要か → **必要なし** →

関係機関との情報共有
 パトロール等の依頼



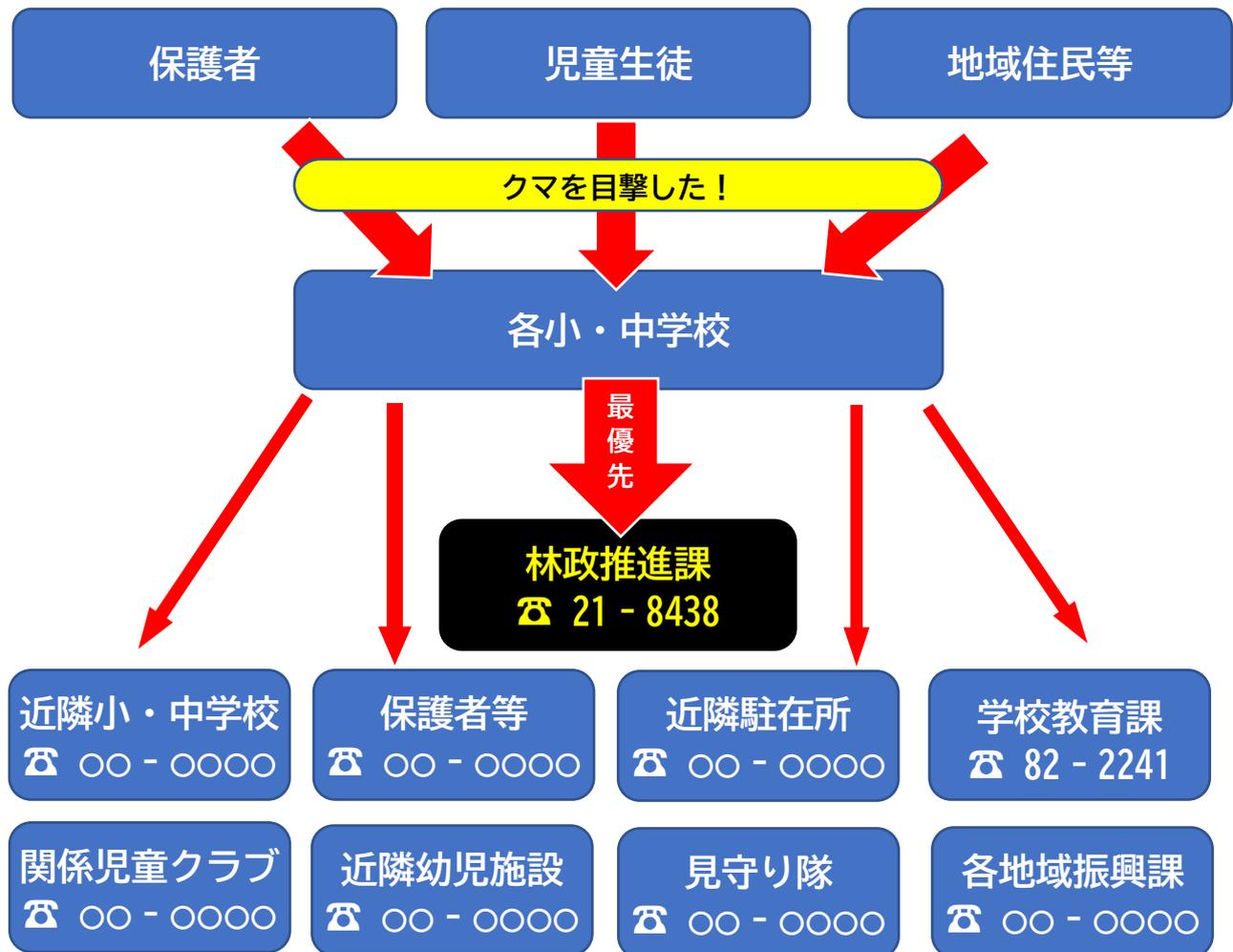
！！ 必要 !!

！！学校の近く（学区内に出没した）／！！通学路に出没した

登 校 前	<input type="checkbox"/> 職員の緊急招集、情報共有と対応協議 <input type="checkbox"/> 通学路の安全確保 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 教職員等による巡回・決めたポイントでの見守り・出迎え等 <input type="checkbox"/> 警察・スクールガード等への支援要請 <input type="checkbox"/> 林政推進課・警察・学校教育課・近隣教育育機関（児童保育課）への連絡 <input type="checkbox"/> 保護者への連絡（まなびポケット等） <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 学校が得た情報を正確に伝達 <input type="checkbox"/> 登校時の注意事項指示 <input type="checkbox"/> 自家用車等での登校依頼 <input type="checkbox"/> 必要に応じて、付き添いや見守り等の依頼
在 校 時	<input type="checkbox"/> 子どもの安全確保 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 全員の安全確認 <input type="checkbox"/> 教室（屋内）への避難及び指示 <input type="checkbox"/> 屋外での活動の制限 <input type="checkbox"/> 職員間での情報共有と対応協議 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 警察・林政推進課・学校教育課・学童クラブ等への連絡 <input type="checkbox"/> 児童生徒への連絡 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 業間時間・昼休み時間の過ごし方の指導 <input type="checkbox"/> 保護者への連絡（まなびポケット等） <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 学校が得た情報を正確に伝達 <input type="checkbox"/> 学校の対応
下 校 時	<input type="checkbox"/> 職員間での情報共有と対応協議 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 下校手段の検討 <input type="checkbox"/> 通学路の安全確保 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 職員による巡回・決めたポイントでの見守り・付き添い等 <input type="checkbox"/> 警察・見守り隊等への支援要請 <input type="checkbox"/> 児童生徒への連絡 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 下校時の注意喚起 <input type="checkbox"/> 下校時刻及び下校方法（集団下校、保護者への引き渡し等）の徹底 <input type="checkbox"/> 保護者への連絡（まなびポケット等） <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 下校時刻及び下校方法（集団下校、保護者への引き渡し等） <input type="checkbox"/> 必要に応じて、迎えや見守り等の依頼
継 続 対 応	<input type="checkbox"/> 保護者への連絡（まなびポケット等） <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 最新情報の提供 <input type="checkbox"/> 翌日の登校方法等 <input type="checkbox"/> 学校が実施する通学路の安全対策 <input type="checkbox"/> 休日等、校外での過ごし方の指導 <input type="checkbox"/> 不安を訴える子どもの確認と心のケア依頼

クマ出没時の連絡フロー

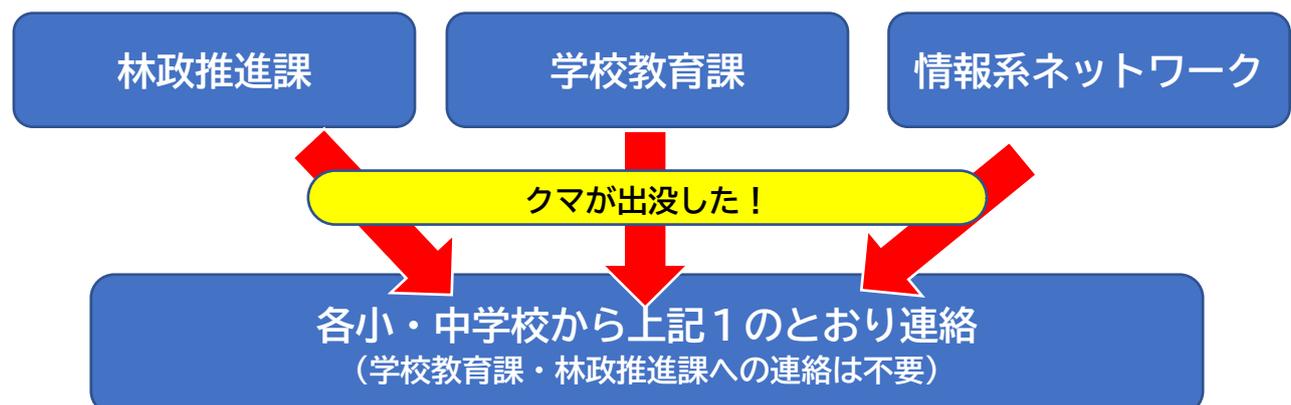
1 児童生徒／保護者／地域住民から学校に目撃情報が寄せられた場合



報告事項 (例)

- | | | |
|----------------------------------|---|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 目撃場所 | <input type="checkbox"/> クマの情報 (大きさ・頭数) | <input type="checkbox"/> 痕跡の様子 |
| <input type="checkbox"/> 目撃日時・時刻 | <input type="checkbox"/> 負傷者の情報 | <input type="checkbox"/> 今後の対応 |

2 関係機関から情報が寄せられた場合



目 次

はじめに

第1章 発生時の緊急対応

1.1_ 事案発生時の初期対応と情報収集

1.2_ 登下校・待機等の判断と対応

1.3_ 報道機関等への対応・報告

第2章 今後の対応策（未然防止策）

2.1_ 危機管理体制の確立と関係機関との連携

2.2_ 未然防止策と児童生徒への指導

第3章 緊急連絡網と対応フロー

3.1_ 緊急連絡網（例）

3.2_ クマ出没時の対応フロー

第4章 参考：クマの習性と安全指導のポイント

一関市内小・中学校におけるクマ出没対応マニュアル（案）

一関市教育委員会

はじめに

近年、全国的にツキノワグマ等の出没が相次いでおり、登下校中の児童生徒が危険にさらされる事案も発生しています。自然豊かな一関市においても、子どもたちの安全確保は喫緊の課題です。クマへの対応は、児童生徒のかけがえのない命を守るための極めて重要な取り組みです。

この「クマ出没対応マニュアル（案）」は、万が一の事態が発生した際に、市内の各小・中学校が迅速かつ組織的に対応できるよう、文部科学省からの通知や全国の事例を参考にして作成しました。

ただし、ここに示されている内容は、あくまで標準的な対応を示した一例です。学校の立地条件、通学路の状況、児童生徒の実態は様々であり、状況に応じた最善の判断が求められます。

つきましては、各学校におかれましては本書を雛形とし、地域や学校の実情に合わせて内容を適宜修正・具体化して、より実効性の高い独自のマニュアルとしてご活用ください。

本マニュアルが、学校、家庭、地域が一体となって子どもたちの安全を守る体制を築く一助となることを切に願います。

第1章 発生時の緊急対応

1.1 事案発生時の初期対応と情報収集

項目	対応内容	担当者 (目安)	備考
認知・ 情報共有	児童、教職員、保護者、地域住民等からクマ（ツキノワグマ等）の目撃情報や被害情報を認知した場合、直ちに管理職（校長・副校長）に報告する。	発見者、 全教職員	情報は一元管理し、憶測や噂の流布を防ぐ。
関係機関 への連絡	管理職は、直ちに一関市（林政推進課）、一関市、管轄警察署（110番または所轄署）に、以下の内容を連絡する。	管理職	緊急性に関わらず林政推進課に第一報。連絡網（後述）に基づき迅速に行う。
情報収集 (状況把握)	クマの出没状況（場所、日時、頭数、大きさ、方向、負傷者の有無、学校施設への被害等）を正確に把握する。初期段階から終息まで、途中経過も含めてきめ細かく行う。	管理職	一関市、警察署、鳥獣保護員、猟友会などから常に最新の情報を入手。
校内の 安全確保	児童・教職員の安全確保を最優先に、状況に応じて直ちに以下の措置を講じる。 - 児童の所在確認、屋内（教室等）への避難・待機。 - 校舎1階の施錠（窓含む）、屋外での活動（体育、休み時間、部活動）の即時中止・制限。 - 大音量での校内放送、音楽を流すなど、クマを遠ざけるための措置を検討。	管理職、 全教職員	緊急性の高い場合は即時実行。

1.2 登下校・待機等の判断と対応

管理職は、把握した情報に基づき、市町村教育委員会の指導・助言のもと、登下校時の児童の安全確保に向けた対応を検討し、直ちに保護者へ確実に伝達される方法（電話、メール等）で連絡する。

(1) 登校前の認知

危険性判断	対応の原則	具体的な措置（検討事項）	保護者への連絡
通学路に 危険性あり	児童の安全確保が最優先	-保護者の自家用車による送迎 依頼。 熊よけ鈴の装着確認・依頼	- 目撃情報、学校の 対応方針、登校時の 注意事項を正確に伝 達。
	臨時休業または自宅でのオン ライン授業等の検討。	-オンライン授業等に係る設定 及び教材等の準備	
	安全対策の強化	- 教職員・スクールガード等 による巡回・立哨・出迎えの強化。 自動車乗車等、自らの安全を確 保できる方法を検討。	
通学路に 危険性なし	安全対策の強化		

(2) 登下校時間帯の認知

危険性判断	対応の原則	具体的な措置（検討 事項）
通学路に 危険性あり	緊急避難の措置	一関市、警察署、PTA 等と連携し、教職員 による巡回、立哨・ 見守りを実施
	登下校中の児童生徒を発見した場合は、緊急的な避難の措置（近 隣の「こども 110 番の家」や商店等への保護依頼を講じる。	
	教職員は、自動車乗車等、自らの安全を確保できる方法により、 見回り等を行う。	

(3) 在校中の認知（下校時の対応）

危険性判断	対応の原則	具体的な措置 （下校手段の検討）	保護者への連絡
通学路に 危険性あり	児童生徒のみでの下校はさせ ない	-予め定めておいた引き渡しの ルールに基づき、保護者に児童 を直接引き渡して下校させる	- 下校時刻及び下 校方法（引き渡し、 集団下校等）を連絡。
	- 集団下校を実施する場 合は、教職員による付き添い、警 察・スクールガード等への支援 要請を徹底する。	- 自家用車等での下校依頼。	
	- バス・タクシー・公用車の利 用についても（市教委等）検討。	- 迎えや見守り等の依頼、熊 よけ鈴等の装着確認・依頼。	

1.3 報道機関等への対応・報告

項目	対応内容	担当者（目安）	備考
一関市教委への報告・相談	管理職は、学校の安全対策、対応状況について一関市教育委員会へ連絡・相談し、指導・助言を受け、適宜報告する。	管理職	判断に迷う場合は速やかに相談。
報道機関への対応	報道機関や関係機関への対応は窓口を一本化し、管理職が対応する。	管理職	事実に基づき、正確な情報を提供する。

第2章 今後の対応策（未然防止策）

2.1 危機管理体制の確立と関係機関との連携

項目	対応内容	担当者 (目安)	備考
連絡体制の確認	一関市、警察署、振興局、PTA、猟友会などの関係機関と普段から意思疎通を図り、それぞれの役割や対応（パトロール依頼、情報提供、緊急時対応等）を確認しておく。	管理職	緊急連絡網（後述）を最新の状態に保つ。
体制図の作成	連絡体制図や対応フロー図を作成し、休日・夜間の緊急時（管理職不在時）に適切かつ迅速な対応がとれるようにしておく。	管理職	定期的に見直し、全教職員で共有する。
危機意識の保持	管理職は、常日頃から危機意識をもち、事案発生時に迅速な判断・対応ができるよう、危機管理体制を確立する。	管理職	
避難訓練の実施	クマ進入時の、学校の指揮系統について、確認をする。	管理職	
通学路の見守り体制	教職員、見守り隊、PTA、関係機関（警察等）と連携し、通学路の見守り体制を平時から構築しておく。	管理職、教務・生徒指導担当	

2.2 未然防止策と児童生徒への指導

項目	対応内容	担当者（目安）	備考
児童への安全指導	<p>学級活動等で、本マニュアルをもとに作成したリーフレット等を活用し、以下の内容を指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> -クマに遭遇しないための行動（音の出るもの（ベル等）の携行、食べ物の持ち歩き禁止）。 - クマが近くにいるサイン（糞、足跡等）の指導とサイン発見時の対応（その場から離れる）。 - クマに出会った際の対処法（背中を見せて走って逃げない、目を離さずゆっくり後ずさり、カバン等を置いて逃げる、大声で叫ばない、石や棒を投げつけない）。 - クマが攻撃してきたら両腕で顔や頭をカバーし、地面に伏せて防御する - クマを目撃した際、スマートフォン等を用いての撮影等は絶対にしないで、すぐに逃げる。 - 一人で行動せず、友達と一緒に行動する指導。 	教職員 (担任等)	定期的に指導する。
保護者への働きかけ	学級だより等を通じ、保護者に対し、家庭内で注意喚起を行うよう働きかける。校外での過ごし方（山や藪での遊びは控える）について指導	教職員 (担任等)	
学校環境の整備	校舎近辺の草木を切って、明るく、見通しを良くしておく（クマは暗いところに出る）。実のなる樹木は早めに収穫し、クマのエサになるようなものを放置しない。	管理職、 用務担当	
避難経路の確認	万が一に備え、校舎内の避難経路と避難場所を確認しておく。	管理職、 全教職員	
避難訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敷地内に侵入した際の対応の訓練と避難方法、避難経路等を確認。実践を通じ、命を守る対処方法について考える機会とする。（生徒） ・ 非常時の対応のしかたや通報訓練も含めた総合訓練とすることによって、非常時への適切な対応力を高める。（職員） 		
学習活動での対応	学校の実情に応じて、「総合的な学習の時間」等で「クマとの共存の在り方」などについて考える学習を取り上げることを検討する。	教務担当	

第3章 緊急連絡網と対応フロー

3.1 緊急連絡網（例）

組織・機関	担当者・部署名	連絡先（昼間）	連絡先（時間外）	連絡手段（備考）
学校(自校)	管理職（校長）	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	
	管理職（副校長）	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	
教育委員会	一関市教育委員会 （学校教育課）	82 - 2241	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	
	県南教育事務所 （指導・助言を要する 場合）	26-1419	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	一関市教委経由
警察署	警察署・駐在 （生活安全課など）	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	110 番	
一関市役所	林政推進課	21 - 8438		
関係機関 （例）	鳥獣保護員・ 猟友会（代表者）	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	
	見守り隊連絡先	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	

3.2 クマ出没時の対応フロー

【STEP 1：情報認知・初期対応】

- クマ出没情報認知（学校近く/通学路/人的被害など）
- ↓
- 緊急性の判断（「必要/必要なし」をチェック）
- ↓
- 管理職へ報告
- ↓
- 校内安全確保（児童の屋内避難・待機、屋外活動中止、施錠）
- ↓
- 関係機関への緊急連絡（市役所→地域教育施設→市教委→警察）

【STEP 2：登下校時の対応】

登校前	在校時	下校時
情報収集・対応協議*	情報収集・対応協議	情報収集・対応協議
↓	↓	↓
通学路の安全確保 (巡回・立哨・出迎え、警察等への支援要請、バス等必要性判断)	児童生徒の安全確保 (屋外活動制限、校内指導)	下校手段の検討 (引き渡し、集団下校、バス等必要性判断)
↓	↓	↓
保護者への連絡 (登校注意事項、送迎依頼、臨時休業検討)	保護者への連絡 (学校の対応、下校時の注意事項)	保護者への連絡 (下校時刻・方法、送迎依頼、迎え依頼)

【STEP 3：継続対応・終息まで】

- 安全確保が確認されるまで継続対応
(巡回・立哨、屋内待機、情報収集、指導)
- ↓
- 保護者への最新情報の提供
(翌日の登校方法、学校の安全対策、校外での過ごし方指導)
- ↓
- 終息後
- ↓
- 事案の検証とマニュアルの見直し

第4章 参考：クマの習性と安全指導のポイント

項目	概要	安全指導のポイント
習性	<ul style="list-style-type: none"> - 薄暗い時間帯（朝と夕方）に最も活発。 - 嗅覚が鋭く、においにつられてくる。 - 臆病だが、脅かすと怖がって襲ってくる。 - 子連れのみスは特に荒くなる。 - トウモロコシ、果実、ドングリ、残飯などを好む。 	<ul style="list-style-type: none"> - 朝夕の登下校は特に警戒。 - ゴミや食べ物の管理徹底。 - 草木を切り、見通しを良くする。
サイン	<ul style="list-style-type: none"> - 糞（ふん）がある。 - 足跡がある（横幅 10cm 程度、指 5 本）。 - クマ剥ぎ（樹皮が剥がされた痕跡）、クマ棚（木の上の巣のようなもの）がある。 	<ul style="list-style-type: none"> - サインを見かけたら、すぐにその場から離れる。
遭遇時の対応	<ul style="list-style-type: none"> - 背中を見せて走って逃げない（本能的に襲ってくる）。 - ゆっくりと後ずさりして離れる。 - カバンなどを置いて、クマが気を取る隙に逃げる。 - 大声で叫んだり、石や棒を投げつけたりしない（興奮させない）。 	<ul style="list-style-type: none"> - 登下校時に音の出るもの（熊よけベルなど）を携行。 - 万が一に備え、「こども 110 番の家」の場所を把握しておく。
報告	<ul style="list-style-type: none"> - クマを目撃した場合は、保護者、学校に知らせる。 - スマートフォン等による撮影は絶対にしない。（すぐにその場を立ち去る） 	<ul style="list-style-type: none"> - 報告を急がせない。避難を第一とさせる。
襲われそうになった場合	<ul style="list-style-type: none"> - 両手を首の後ろに組み、顔を伏せる姿勢をとる（頭や顔を守る）。 	<ul style="list-style-type: none"> - 児童生徒への指導・訓練も検討。